

放課後等ディサービス 夢門塾 自己評価表

記入日:	2024年1月15日
事業所名: 夢門塾磯子	

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	4	2	1	活動に応じて室内のスペースを確保し、活動場所を分けて人数を分散させるなどの工夫をしている。
	② 職員の配置は適切である	3	1	3	適切である。
	③ 衛生面の管理が行き届いている	3	2	2	感染症マニュアルに基づいて実施している。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	3	4	0	月1ミーティングで注意すること、情報、改善などを共有している。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	7	0	0	年1回アンケートを行い、頂いた意見をもとに話し合いを共有し改善に努めている。
	⑥ 自己評価の結果を公開している	5	1	0	ホームページで公表している。
	⑦ 職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	5	2	0	職員全体研修やエリア勉強会等を実施している。
適切な支援の提供	⑧ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	6	1	0	送迎時の聞き取りやモニタリングで保護者様や児童自身のニーズを大切にし、個別支援計画を作成している。
	⑨ 活動の計画をチームで行っている	6	1	0	各自意見を出し合って、計画している。
	⑩ 活動の計画が固定化しないよう工夫している	6	1	0	季節の行事や運動、工作等さまざまな経験をしてもらえるように工夫している。
	⑪ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	6	1	0	季節にあつた行事や下校時間に合わせた活動内容を計画している。
	⑫ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	6	0	1	基本的には、集団行動を行っているが、子どもの状況に応じて個別活動を行っている。
	⑬ 支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	0	ミーティングにて職員間で支援内容や役割分担について話し合い確認をしている。
	⑭ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1	0	当日の支援に関する記録は当日中に終わらせるようにしている。また、その日の振り返りも行い支援の改善につなげている。
	⑮ 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	0	半年に一回モニタリングを行っている。
	⑯ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	7	0	0	その都度、不明点があれば確認しながら支援を行っている。

関係機関、保護者様との連携	⑯ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行えている	5	2	0	保護者を通して情報共有している。
	⑰ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	5	2	0	保護者を通して情報共有してもらう事もある。
	⑲ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	3	3	1	該当児童なし。
	⑳ 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	2	関連部署と連携を取り、研修を受けている。
	㉑ 日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	6	1	0	連絡帳ツールや送迎時等に情報共有を行っている。
保護者様への説明責任等	㉒ 運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	7	0	0	契約時に説明を行うようにしている。
	㉓ 保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	6	1	0	対面、電話、書面など、保護者のご都合に合わせて対応している。
	㉔ 保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	0	0	5	今年度は開催できなかった。今後していく。
	㉕ 子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	0	苦情対応体制は整備している。
	㉖ 定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	7	0	0	お便りにてお知らせ報告を行っている。
	㉗ 個人情報保護に十分注意している	6	1	0	個人情報の同意書などにて意向を確認している。
	㉘ 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	0	言葉による誤解を生まない様に配慮しながら、伝わりやすい方法で伝達できるように配慮を行っている。
	㉙ 地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	1	1	4	以前参加していた行事がなくなり、行っていない。 個々での参加になっている。
	㉚ 緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	3	4	0	各マニュアルを策定し、職員に周知徹底している。
非常時などの対応	㉛ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	7	0	0	定期的に訓練を計画し、行っている。
	㉜ 虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	0	社内で研修を行っている。
	㉝ いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	6	1	0	身体拘束が必要な利用者がいない。
	㉞ 保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	4	1	1	投薬が必要な利用者がいない。
	㉟ ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	7	1	0	用紙に記入し、共有を行っている。
	保護者様評価、自己評価についてまとめ				
	保護者同士の交流、職員との交流ができる機会が作れなかつたので次年度の課題として準備していきたいと思います。また自ら外との関係作りも同時にやって行こうと思います。職員体制も安定させてより安心感のある放課後の時間を作り提供して行けるように努力していきたいと考えています。				